

岩手県案件 | 2026年8月～11月

BRAINS：政策・組織の決定を反論で磨くゲーム

参加者が政策案や組織の方針案を提示し、異なる役割を持つ複数のAIから質問・反論を受けながら、決定案を改訂する実証です。

参加

自治体職員 2～6名

形式

オンライン／庁内ローカル

進行

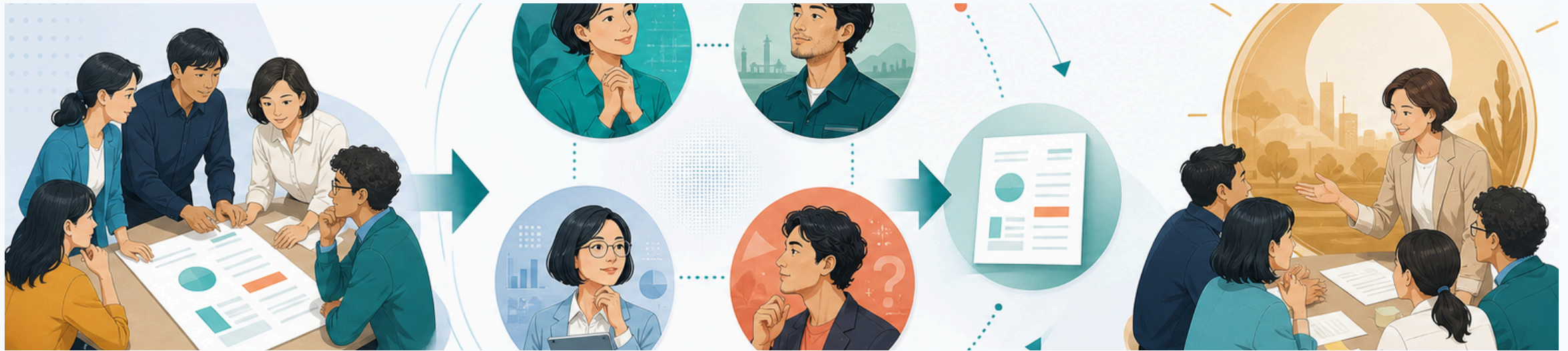
質問・反論と改訂を1～3ラウンド

自治体には、検討したい政策案・組織方針、参加職員、実施方式の調整をお願いします。

BRAINSは本実証のゲーム名称として新たに定めた造語です。

ゲームの進め方

複数のAIの反論を受け、人間が決定案を磨きます



① 政策案・組織方針と参照資料を提示

② 複数のAIが異なる視点から質問・反論

③ 参加者が論拠と実施方法を補強して改訂

④ 人間が合意可能な方針を選び、最終判断

AIは最終決定、外部提出、業務システムへの書き込みを行いません。

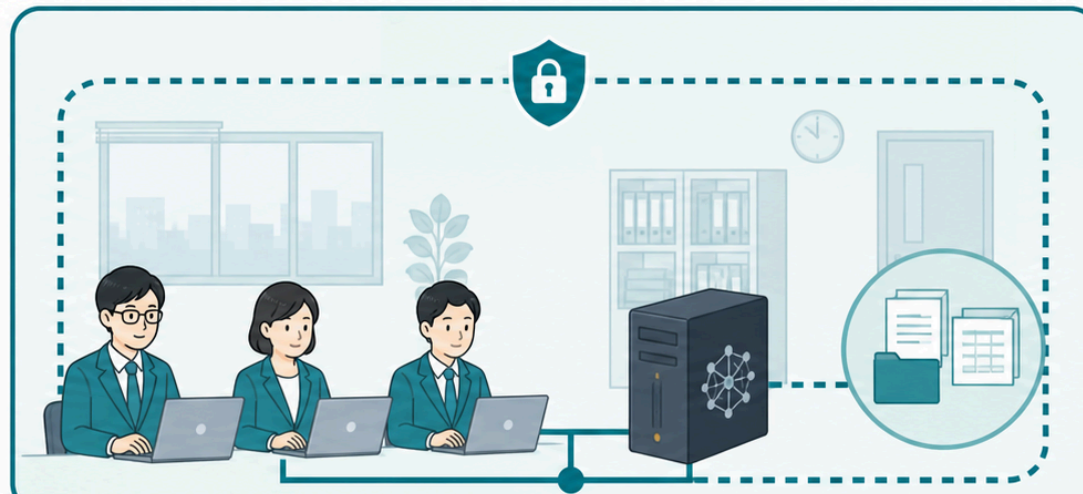
実施方式

共有題材はオンライン、内部資料は庁内ローカル



オンライン

- 共有可能な政策・組織テーマを使用
- 研究者側の環境へ接続して短時間で開始
- 内部資料・個人情報は入力しない



庁内ローカル

- 自治体LAN内の推論PCと端末で実施
- 内部資料を外部AIサービスへ送信しない
- 参照資料と出力範囲を事前に設定

どちらの方式でも、出力を利用する前に自治体職員が内容を確認します。

自治体にお願いすること

題材・参加者・実施環境の調整をお願いします

自治体側で調整

- 検討したい政策案または組織の方針案
- 参加職員2～6名と進行役1名
- オンライン／庁内ローカルの選択
- 庁内ローカルの場合は会場・電源・LANの調整

求めない費用

システム利用料・専用機器購入費

研究者側が準備・実施

- 実証用システム、推論環境、必要機器の準備
- 初期設定、接続試験、当日の進行
- 対話記録の管理と技術的な障害への対応
- ヒアリングと結果整理

通常経費

電気・通信・会場・職員対応等の通常経費

最初の打合せ

題材・方式・実施日などを一緒に検討します

8月	窓口・題材・方式を決定	9月	接続確認・事前説明	10月	BRAINS実証を実施	11月	ヒアリング・結果整理
----	-------------	----	-----------	-----	-------------	-----	------------

確認すること

- 1 検討したい政策案・組織方針
- 2 共有可能な題材か、庁内ローカルが必要か
- 3 参加職員と実施可能な時期

永田 右京

岩手県立大学大学院 総合政策研究科 博士後期課程
大正大学 非常勤講師

s18568un@gmail.com

まずはメールでご連絡ください。題材、実施方式、通常経費を事前に確認します。